

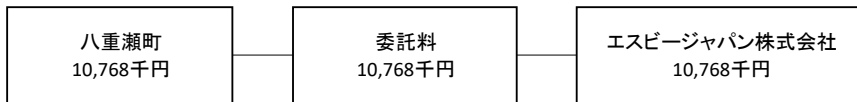
市町村名		八重瀬町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	八重瀬ブランド販路構築支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部署名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1	
事業内容	八重瀬町の地域資源を活用した八重瀬ブランドの構築と拡張のための取り組みを支援するとともに、小規模事業者であるブランド参画事業者を支援し全体的な底上げを図る。そして参画事業者の所得向上及び地域活性化を促すように、販路構築の支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000	9,975	9,912	9,956	10,800
		(b)予算現額	10,000	9,975	9,912	9,956	10,800
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	—	0	0	0	0
		A.計(b+d)	10,000	9,975	9,912	9,956	10,800
	B.執行済額		10,000	9,134	9,912	9,770	10,768
	うち交付金充当額		8,000	7,307	7,929	7,816	8,614
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	91.6%	100.0%	98.1%	99.7%
予算の状況の説明		八重瀬ブランドの販路拡大のため各種イベントやプロモーション、新たな八重瀬ブランド「八重瀬の旬」の構築、特産品の開発、参画事業者への専門家による指導助言を通じた事業者の育成を行い、当初通り予算を適正に執行した。不用額については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度(3-③)	26年度(3-③)	27年度	28年度	
	参画事業者の集中支援	目標	()	()	(1社)	(3社)	
		実績			1社	2社	
	中期実行計画に基づいたブランドイメージの再構築	目標	()	()	(計画策定)	(実施)	
		実績			計画策定	実施	
ブランド情報誌作成のための情報収集とパンフレット作成	目標	()	()	()	(実施)		
	実績				実施		
達成状況説明	<p>ワークショップに参加した事業者から2社を選定、専門家の支援を受けながら開発、パッケージデザイン、品質管理、流通側とのマッチング支援を行った。なお活動目標では3社支援となっていたが、支援を希望した事業者が2社に留まったため、実績は2社となっている。</p> <p>中期実行計画に基づき、町の農・水・畜産物、飲食、工芸をPRする新たなブランドイメージ「八重瀬の旬」を構築。町内事業者が有する地域資源について情報収集を行い、ブランド情報誌となる「八重瀬の旬コンセプトBOOK」を作成した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(32年度)
	新商品開発	目標	()	(3品)	(3品)	(2品)	()
		実績		2品	8品	3品	
	八重瀬ブランドコンセプト製作	目標	()	()	()	(製作)	()
		実績				製作	
	ブランド発信情報誌の作成	目標	()	()	()	(10,000部)	()
		実績				10,000部	
	情報誌の設置(県内道の駅、店舗等)	目標	()	()	()	(30か所)	()
実績					102か所		
【参考指標】新規及び改良した商品の販売額		目標	()	()	()	(726千円)	(1,170千円)
		実績				0	213千円
進捗状況説明	<p>参画事業者への集中支援の結果、1社((株)沖縄南国フーズ)により「南国アグーメンチカツ」「南国アグーントンテキ」「南国アグーラード」と3品の新商品の開発となった。なお完成が事業期間終了間際であったことから、28年度の販売額は0となっている。もう1社の集中支援先(エルカミー)については県内百貨店(リウボウ)とのマッチングが成立し、期間限定の展示販売が決定した。</p> <p>町内事業者・生産者に対する情報収集を行い、町の農・水・畜産物、飲食、工芸をPRする新たなブランドイメージ「八重瀬の旬」を策定。ブランド情報発信誌「八重瀬の旬コンセプトBOOK」を10,000部作成。当初、設置先を町外の道の駅・観光施設としていたが、ブランドイメージをより広範囲に発信すること、また町内を訪れる観光客への周知を図ることを目的に商業施設及び町内事業者の店舗を追加した。その結果、町外43か所(うち県外10か所)を含む102か所へ設置したほか、町が関わる観光イベント等において配布を行った。またブランド情報発信及び販路構築の一環として、首都圏を中心に展開するセレクトショップ「ランキンランキン」において、これまでに本事業で開発した商品を中心に1か月の限定販売を行った。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○平成29年4月に供用開始した「観光拠点施設」について、事業者の出店・出品促進や施設を活用した販路拡大・ブランド発信施策の実施が急がれる。</p> <p>○参画事業者の大部分が小規模事業者であり、多角的な事業運営が困難である現状を考えると、自主努力・自立経営を基本としつつ引き続き開発・ブランディング・販路開拓を支援する必要がある。同時に現在は参画していない業種や、既に独自の販路を有する比較的規模の大きい事業者にも参画を呼びかけ、「八重瀬ブランド」として連携する必要がある。</p> <p>○本事業に関心を持った県内教育機関(高校・大学)より参画の申し出があったことから、何らかの仕組み作りが必要と考える。</p>	<p>○八重瀬町観光拠点施設を販路拡大の機会とし、積極的に活用する。</p> <p>○参画事業者の意欲を高め、自助努力をしながら自走に向けて専門家と共に指導助言を伴走しながら実施していく方法が最善と考える。</p> <p>○プロモーションについては、町が有する資源に適したターゲットを定めた上で取り組む必要がある。</p> <p>○販路拡大のため、流通に対応した商品の改良、流通側事業者とのマッチングの機会確保が必要。</p>

今後の取り組み方針
<p>○新たに構築した八重瀬ブランド「八重瀬の旬」、及びこれまでのカラベジブランドについて、事業者・団体に対し積極的な活用を呼びかけ、ブランドイメージの拡大を図る。</p> <p>○平成29年4月にオープンした「八重瀬町観光拠点施設」、アンテナショップを兼ねたキッチンカー、ブランド情報発信誌等を活用したブランドイメージの発信・プロモーションを行う。</p> <p>○販路拡大のため、特産品コンテスト等への出展やプレスリリースを行い、マスコミへの露出機会を増やす。また流通を想定した商品改良を支援し、町外事業者とのマッチングの機会を確保し取引業者数の増加を図る。</p> <p>○町外事業者・教育機関等と町内事業者とのマッチングを通じ、新商品の共同開発・新規販路の開拓・PRを図る。</p> <p>○地域全体の商品の価値の底上げを図るために必要な施策を実施し、参画事業者全体が地域ブランドとして八重瀬町の知名度向上を図り地域活性化につなげる。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
10,768	10,768	8,614	2,154	0



八重瀬ブランドコンセプト制作、ブランド発信情報誌の作成・設置、販路構築ワークショップ、参画事業者の集中支援、セレクトショップ・イベント等を通じたプロモーション

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、地方自治法施行令第176条の2第1項第2号に基づき、企画提案方式により事業者を公募したところ4社の応募があり、書面審査・プレゼンテーションの結果当該事業者を選定、契約を締結しており妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、業者見積もり等で決定しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		八重瀬町					
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	八重瀬ブランド販路構築支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ		
担当部課名	観光商工課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		県産品の販路拡大と地域ブランドの形成		
事業内容	八重瀬町の地域資源を活用した八重瀬ブランドの構築と拡張のための取り組みを支援する。また、小規模事業者であるブランド参画事業者を支援し全体的な底上げを図るとともに、販路構築の支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	9,975	9,912	9,956	10,800	10,768
		(b)予算現額	9,975	9,912	9,956	10,800	10,768
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	9,975	9,912	9,956	10,800	10,768
	B.執行済額		9,134	9,912	9,770	10,768	10,751
	うち交付金充当額		7,307	7,929	7,816	8,614	8,600
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.6%	100.0%	98.1%	99.7%	99.8%
予算の状況の説明		八重瀬ブランドの販路拡大のため各種イベントやプロモーション、特産品の開発、参画事業者への専門家による指導助言、卸・流通事業者とのマッチングを通じた事業者の支援を行い、当初通り予算を適正に執行した。不用額については入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	新商品開発事業者の集中支援	目標	(3社)	(2社)	()	()	
		実績	2社	2社			
	販路構築に関する一連のワークショップの開催	目標	()	(3回)	()	()	
		実績		3回			
ニーズ調査・PRを目的とした販路構築支援企画の実施	目標	()	(3回)	()	()		
	実績		4回				
達成状況説明		ワークショップに参加した事業者から2社(しらかわファーム、ハルハウス)を選定、専門家の支援を受けながら開発、パッケージデザイン、品質管理、流通側とのマッチング支援を行った。また県内2か所(わたしたショップ(沖縄ライカム・国際通り))、八重瀬町観光拠点施設(県外2か所(なみへい、博多わた))において、町産品のニーズ調査・PRを目的としたテストマーケティングを実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(32年度)
	新商品の完成	目標	()	(3品)	(2品)	(2品)	()
		実績		8品	3品	4品	
	販路構築に関する一連のワークショップ参画事業者数	目標	()	()	()	(7社)	()
		実績				11社	
	販路構築支援企画における認知度向上(アンケート回答人数)	目標	()	()	()	(100人)	()
		実績				135人	
	【参考指標】新規及び改良した商品の販売額	目標	()	()	()	(726千円)	(1170千円)
		実績				22千円	490千円
	【H30成果目標】商談が新規成立した事業者数	目標	()	()	()	()	(2件以上)
実績						1件	
進捗状況説明		<p>○10月~11月に開催したワークショップには11事業者が参加。専門家による事例紹介・商品づくり・マーケティング等、販路構築・拡大に係る一連のノウハウについて講義を実施した。</p> <p>○参画事業者への集中支援の結果、しらかわファーム3品(手作りまるごとゼリー ドラゴンフルーツ他)、ハルハウス1品(からさんど~プレミアム)の計4品が新商品として完成した。なお完成・販売開始が1月末となったことから、29年度事業期間中の販売額は22,454円となっている。</p> <p>○町産品のニーズ調査・PRを目的として、次の取組を行うとともに、各取組において、来場者に対し八重瀬町・八重瀬町産品に関するアンケートを実施した。①10月~11月に東京都内のアンテナショップ・レストラン「なみへい」において、町産品を用いた期間限定メニューの提供並びに町産品の販売 ②県内及び福岡県のわたしたショップにおけるテストマーケティング(10月:博多わたした、12月:ライカム店・国際通り本店) ③2月に八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえせ)において町産品並びに本年度新規開発商品のテストマーケティングを実施。</p> <p>○平成30年度中、上記参画事業者2社のうち1社(しらかわファーム)について新規商談が成立。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○平成29年4月に「観光拠点施設」が供用を開始したことから、今後は当該施設への事業者の出店・出品促進や、施設を活用した販路拡大・ブランド発信施策の実施が可能となった。</p> <p>○販路構築に向けたマーケティング及びプロモーションについては、29年度は県外飲食業者、拠点アンテナショップ、町内観光拠点施設の三種の場所においてプロモーションを実施し、来場者へのPRを行ってきたが、より有効な方法がないか、引き続き検討を行う必要がある。</p> <p>○現状のワークショップ及び八重瀬ブランドへの参画事業者の大部分が多角的な事業運営が困難な小規模事業者となっている。今後、八重瀬ブランドの構築を進めていくにあたっては、大きなブランドの枠の中で、多種多様な商品を取りそろえ、ターゲットに合わせたアプローチが可能となるようにしなければならないが、現状の参加事業者のみでは、限界が生じることが想定される。</p>	<p>○八重瀬町観光拠点施設を積極的に活用し、八重瀬町産品のPRを継続的に実施することで、定点販売を行う拠点が存在することの利点を最大減活かしていくことが可能となるとともに、八重瀬ブランドが浸透した場合においては、これを目当てに本町を訪れる交流人口の増が期待できる。</p> <p>○マスコミへの露出の増加などは引き続き目指しながら、ターゲットとなる地域の絞り込みを行うとともに、地方でも一定のニーズが見込まれる地域に向けた取組を実施することで、販路の拡大により直接的に繋げていくことが可能となる。</p> <p>○本事業並びに八重瀬町の産品に関心を持った町内外の団体・企業を巻き込むことで、ブランド内の商材の多様化を図ることが可能となり、「八重瀬ブランド」を発信することで、ブランドの構築を促進できると考えられる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>○アンテナショップを兼ねたキッチンカー(カラベジ号)等を引き続き活用し、ブランドイメージの発信・プロモーションを実施するとともに、イベント等の機会を活用したプロモーションの実施や日常の出店・出品を促すなど、八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえせ)を拠点として活用していく。</p> <p>○事業者自らによる取組を基本におきつつ、開発済の商品や既存の商品等について、専門家による指導助言を仰げるようにする環境を構築するとともに、ターゲットとなる地域などを含めた各地の商談会等への出展支援等を行うことで、販路拡大に向けて取り組んでいく事業者を支援する。</p> <p>併せて、町として特産品コンテスト等への出展や、積極的なプレスリリースを実施することで、マスコミへの露出機会を増やし、「八重瀬のカラベジ」の知名度向上につなげていくことで、販路拡大を側面から支援していく。</p> <p>○「八重瀬の旬」「八重瀬カラベジ」に代表される八重瀬ブランドについて、事業者・団体に対し積極的な活用を呼びかけ、ブランドイメージの拡大を図るとともに、町外団体・教育機関等と町内事業者とのマッチングを通じ、新商品の共同開発・新規販路の開拓・PRを図ることで、八重瀬ブランドの商材多様化、発信力強化を図っていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	10,751	10,751	8,600	2,151	0
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 八重瀬町 10,751千円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 委託料 10,751千円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> エスピージャパン株式会社 10,751千円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・販路構築ワークショップの開催 ・参画事業者の集中支援 ・県内外アンテナショップ、八重瀬町観光拠点施設におけるテストマーケティング及び </div> </div>					

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、地方自治法施行令第176条の2第1項第2号に基づき、企画提案方式により事業者を公募したところ1社の応募があり、書面審査・プレゼンテーションによる選定を経て当該事業者と契約を締結しており妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、業者見積もり等で決定しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	